

# 川平地区 社協だより

第87号

令和4年9月1日発行

川平地区社会福祉協議会

発行責任者 会長 菅沼 勇

編集 地区社協広報部

## 令和4年度これからの川平社会福祉協議会の活動について

会長 菅沼 勇



社協の会員の皆様は日頃よりサロン活動への参加等の地域福祉活動にさまざまな形で関わり、その推進にご尽力を頂いていることに深く敬意を表します。

川平地区においても少子高齢化や地域のつながりの希薄化が進み、社会的な孤立、生活の支障など個人や世帯が抱える課題は複雑化と多様化しています。

これまでの社協活動において小地域ネットワーク活動のサロン活動などを通じて地域課題の解決のための取組みを行ってきました。

地域の現状を見てみますと、若い世代から高齢化世代までの地域における課題の把握だけに留まらず、課題を解決するために地域社会全体を支える既存の福祉制度と社協活動だけで対応していくことは、困難な状況になっています。

日々の暮らしにおける人と人とのつながりを基本に社協青葉区事務所、川平地区の包括支援センター、介護施設、医療機関との情報・意見交換を行って、地域の状況を共通理解して課題を解決するために連携を深め、地域の中で「安心と安全」に暮らせることが維持できるよう活動を行います。

特に今年度においては「人の社会などが世代や分野を超えてつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことができる地域や社会をつくる仙台市福祉計画の共生社会の実現「共にいきる」をテーマにして「安心と安全」を目指して活動を行いますので一層のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

## 令和4年度 川平地区社会福祉協議会総会

「令和4年度 川平地区社会福祉協議会総会」は、今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、書面での議決とし、令和4年4月16日、すべての議案について承認されました。

### 《令和4年度 事業計画》

#### 1. 福祉活動について

##### (1) 「小地域福祉ネットワーク活動」の推進

①高齢者、障害者等世帯の安否確認活動への支援

②日常生活支援活動や福祉活動への支援

＊令和4年度社会福祉協議会会費納入額の25%を各町内会へ

##### (2) 高齢者を対象とする「いきいきサロン活動」の推進

支援：川平地区社会福祉協議会・川平赤十字奉仕団

○対象：65歳以上の一人暮らしの方、および70歳以上の方

○1回あたり8,000円助成（社協より5,000円、日赤より3,000円）

＊年6回まで申請により助成（報告書の提出）

##### (3) 乳幼児親子対象の子育てサロン活動「かわだいラッコ」活動の推進

主催：川平地区社会福祉協議会・川平赤十字奉仕団

○子育てサロン「かわだいラッコ」を年間9回開催。

対象：未就学児の親子・家族・妊婦

#### 2. 募金活動について

(1) 日本赤十字社社資 5月1日～ 6月30日・・・日本赤十字社社員増強運動実施

(2) 社会福祉協議会会費 7月1日～ 8月31日・・・会員増強運動実施

(3) 赤い羽根共同募金 10月1日～11月30日・・・全国一斉共同募金運動実施

※各募金時期については、各町内会により異なります。

#### 3. 研修活動について

(1) 福祉活動研修 ○高齢者福祉などについて

(2) 日赤奉仕団研修 ○非常災害時の対応などについて

(3) その他の研修会 ○福祉施設・介護施設などの見学や講話

#### 4. 広報活動について

○「社協だより」年間2回発行（第87号・R4年9月発行、第88号・R5年3月）

\*各町内会や各種関係団体の福祉活動紹介

\*各種研修会・講習会の広報と行事報告など

#### 5. 青少年健全育成活動支援について

○桜丘中学校区青少年健全育成協議会への助成

○中山中学校区青少年健全育成協議会への助成

○川平学びのミュージアム推進委員会への助成

#### 6. 各種行事・研修等への参加について

○川平学区連合町内会、福祉関連機関などの行事や会議、及び研修会への積極的参加

#### 7. その他

○川平赤十字奉仕団倉庫（中山8丁目21-68）の救援装備の保管と活用

○非常用炊き出し用具の地域への貸し出し

○車椅子の保管と活用

○子育てサロン使用のおもちゃ及びロッカーなど

### 《令和4年度 川平地区社会福祉協議会収支予算》

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

#### ○収入の部 (単位：円)

| 科目        | 前年度決算額    | 本年度予算額    |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 会費      | 757,000   | 757,000   |
| 1) 普通会費   | 744,000   | 744,000   |
| 2) 特別賛助会費 | 13,000    | 13,000    |
| 2 助成金     | 818,000   | 818,000   |
| 3 共同募金    | 749,990   | 749,990   |
| 4 事業委託金   | 52,800    | 50,000    |
| 5 研修負担金   | 0         | 30,000    |
| 6 寄付金     | 0         | 50,000    |
| 7 諸収入     | 14        | 14        |
| 8 繰越金     | 659,504   | 846,676   |
| 合計        | 3,037,308 | 3,301,680 |

#### ○支出の部 (単位：円)

| 科目           | 前年度決算額    | 本年度予算額    |
|--------------|-----------|-----------|
| 1 会議費        | 30,456    | 80,000    |
| 2 旅費         | 24,000    | 50,000    |
| 3 渉外費        | 6,000     | 55,000    |
| 4 需用費        | 52,344    | 55,000    |
| 5 役務費        | 47,000    | 60,000    |
| 6 事業費        | 270,448   | 431,940   |
| 1) サロ活動費     | 58,508    | 220,000   |
| 2) ネットワーク活動費 | 189,250   | 189,250   |
| 3) 募金活動費     | 22,690    | 22,690    |
| 7 研修費        | 45,323    | 70,000    |
| 8 広報費        | 144,870   | 160,000   |
| 9 青少年育成助成金   | 20,000    | 30,000    |
| 10 送付金       | 757,000   | 757,000   |
| 11 共同募金      | 749,990   | 749,990   |
| 12 諸費        | 1,200     | 15,000    |
| 13 予備費       | 42,001    | 787,750   |
| 小計           | 2,190,632 | 3,301,680 |
| 繰越金          | 846,676   | 0         |
| 合計           | 3,037,308 | 3,301,680 |

### 《令和4年度 川平赤十字奉仕団収支予算》

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

#### ○収入の部 (単位：円)

| 科目      | 前年度決算額    | 本年度予算額    |
|---------|-----------|-----------|
| 1 会費    | 1,115,010 | 1,115,010 |
| 2 日赤交付金 | 266,102   | 266,102   |
| 3 諸収入   | 2         | 2         |
| 繰越金     | 329,773   | 386,458   |
| 合計      | 1,710,887 | 1,767,572 |

#### ○支出の部 (単位：円)

| 科目       | 前年度決算額    | 本年度予算額    |
|----------|-----------|-----------|
| 1 会費送付金  | 1,115,010 | 1,115,010 |
| 2 会議費    | 18,806    | 40,000    |
| 3 事務費    | 26,079    | 73,000    |
| ① 消耗品費   | 14,079    | 20,000    |
| ② 交通費    | 12,000    | 30,000    |
| ③ 通信費    | 0         | 3,000     |
| ④ 渉外費    | 0         | 20,000    |
| 4 事業費    | 151,424   | 245,000   |
| ① 研修費    | 37,357    | 60,000    |
| ② 高齢者福祉費 | 92,212    | 120,000   |
| ③ 広報費    | 0         | 25,000    |
| ④ 募金活動費  | 21,855    | 30,000    |
| ⑤ 諸費     | 0         | 10,000    |
| 5 予備費    | 13,110    | 294,562   |
| 小計       | 1,324,429 | 1,767,572 |
| 繰越金      | 386,458   | 0         |
| 合計       | 1,710,887 | 1,767,572 |

# 《令和4年度 川平社会福祉協議会役員(理事) 名簿》

任期 令和4年4月1日～令和5年3月31日

| 役職                                     | 氏名     | 推薦団体   | 備考    |
|----------------------------------------|--------|--------|-------|
| 会 長 (兼)<br>川平赤十字奉仕団長<br>川平地区共同募金会会長    | 菅沼 勇   | 川平団地   |       |
| 副会長 (兼)<br>川平赤十字奉仕団副団長<br>川平地区共同募金会副会長 | 阿部 幸子  | 中山北部   | 経理    |
| 副会長 (兼)<br>川平赤十字奉仕団副団長<br>川平地区共同募金会副会長 | 遠藤 雅利  | 民児協    | 研修    |
| 総務部長                                   | 山本 卓子  | 西勝山    | 募金責任者 |
| 経理部長 (兼)                               | (阿部幸子) | (中山北部) |       |
| 福祉部長                                   | 佐々木清文  | 杉壩     |       |
| 募金部長                                   | 谷岡 洋志  | 川平団地   | 募金責任者 |
| 広報部長                                   | 秋山 俊明  | 川平団地   |       |
| 総務副部長                                  | 石澤 恵子  | 民児協    |       |
| 経理副部長                                  | 若生 弘美  | 民児協    |       |
| 福祉副部長                                  | 赤羽 義明  | 中山北部   |       |
| 募金副部長                                  | 郷古正太郎  | 川平団地   |       |
| 広報副部長                                  | 後藤あゆみ  | 中山北部   | 募金責任者 |
| 地域福祉活動推進員                              | 佐藤 純夫  | 民児協    | 福祉    |
| 福祉部員                                   | 黒氏 清美  | 民児協    |       |
| 福祉部員                                   | 佐藤 年夫  | 民児協    |       |
| 福祉部員                                   | 遊佐 洋子  | 西勝山    |       |
| 福祉部員                                   | 菊地 晴美  | 西勝山    |       |
| 福祉部員                                   | 安田 養子  | 川平わかば  |       |
| 募金部員                                   | 藤井恵美子  | 杉壩     | 募金責任者 |
| 募金部員                                   | 渡辺れい子  | 川平わかば  | 募金責任者 |
| 監 事                                    | 三浦ひろ子  | 民児協    |       |
| 監 事                                    | 吉田 武   | 民児協    |       |

○川平赤十字奉仕団では、団長・副団長以外の役員全員が「団員」となります。

○各町内会の福祉部長が募金責任者となります。

## 子育てサロン「かわだいラッコ」

今年度の子育てサロン「かわだいラッコ」は5月27日から改修を終えた(川平コミュニティセンター大ホール)で開いております。9月と3月を除き、毎月第4金曜日に開催の予定にしております。

コロナ禍やセンター改修で継続した開催ができずにおりましたが、コロナ禍も落ち着く気配があるなか、支援員やボランティアの皆さんは張り切っておりますので、沢山の方々のご利用をお待ち申し上げております。

また会場が広がったこと、トイレにベビーチェア等も備わり、利用しやすい環境が整っております。遊具なども一通りそろっておりますのでお子さんの好奇心や遊ぶ意欲を掻き立ててくれるものと思います。同時に親御さんも息抜きやお悩み解消の場にしていただけたらとても嬉しく思います。

子どもが伸び伸びと明るく楽しく元気よく成長する。そんな姿を分かち合う場としてサロンのご利用をお願い申し上げます。



(川平地区社協福祉部長 佐々木 清文・記)

## 令和4年度 福祉活動研修会 報告

令和4年7月23日(土)川平コミュニティセンターにおいて「川平地区福祉活動研修会」を40名参加で開催しました。コロナ感染が急速に拡大しているなかで感染防止対策の徹底に努めて研修会を進めました。

### 《研修内容》

講話①:「地域共生社会の実現に向けて」

講師:東北福祉大学 総合福祉学部

准教授 村山 くみ 様

講話②:他地区の取り組み状況について

講師:仙台市青葉区社会福祉協議会 青葉区事務所

所長代理 川村 淳 様 CSW(コミュニティソーシャルワーカー)

主事 一戸 翔 様 CSW(コミュニティソーシャルワーカー)

主な内容:

- ① のテーマは、村山先生から川平地区を例に挙げ、地区の人口、世帯構造の推移等の説明がありました。川平地区も、高齢者の単独世帯の増加が著しい事や夫婦のみ世帯や一人親世帯が増加しています。

一方、1世帯当たりの人員数は減少(1世帯当たり川平地区:2.15人 全国:2.21人)し家族による支え合い機能が低下しています。このため、“ちょっとした手助けを必要としている人” “ちょっとした見守りを必要としている人”、“ちょっと孤独を感じる人”が増えています。

そのためには、地域の『互助』の力が必要であり、「困った時はお互い様」の視点で、①困っていることに気づく、②お互いの状況を共有する、③そして行動する。の3つのポイントをあげています。

- ② のテーマは仙台市社協の担当者からコロナ禍での福祉活動の実践例(七郷地区、寺岡地区)の紹介がありました。七郷地区の「ふれあいサロン」では、参加者の体調の確認や家族の同意、参加人数の制限、短時間の滞在等の開催ルールをきめて実施し、好評を得た例でした。

寺岡地区(仲間と会って話しをする各種活動)では、コロナ禍での開催について独自にガイドラインを作成し感染症対策責任者の創設、会場設営レイアウトや自然換気等の見える化を行い、住民が安心して参加できた例でした。

今回の研修会は、コロナ禍にあって、高齢者世帯の増加や地域住民の価値観の多様化など、人と人のつながりや地域に対する関心が希薄になっている今日、時宜のかなったテーマで、大いに勉強になりました。

講話終了後、数々の質疑にお応えいただき、遠藤副会長の閉会挨拶で研修会終了となりました。



写真左:  
講師の村上先生  
写真右:  
研修会の様子

(川平地区社協福祉部員 佐藤 年夫・記)

## 令和4年度 川平団地いきいきサロン開催

今年度初のいきいきサロン会が7月6日に開催されました。恒例の落語を聞く会で沢山の観客の皆様がマスクの奥に笑みがこぼれておりました。

(広報部取材による)



写真左:  
青葉亭 軽茶様  
写真右:  
観客の皆様の様子

### 編集 後記

今年度最初の発行となります。編集スタッフも入れ替わりまして、できるだけ読みやすい、紙面でお伝えできるよう努めてまいります。  
また、皆様からの地域情報の寄稿をお待ちしております。

《編集スタッフ一同》